

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

アイフル株式会社（証券コード:8515）

【変更】

長期発行体格付 B+ → BB
格付の見通し 安定的 → ポジティブ

■格付事由

- (1) 消費者金融大手の一角。無担保ローンや信用保証といった消費者金融事業に加えて、子会社のライフカードでクレジットカード事業を、タイで無担保ローンを中心に行う AIRA&AIFUL 等で海外事業を行っている。15年8月にADR後の金融支援が終了して以降、資金調達の安定性が増し営業債権残高を積極的に積み増してきた。新規顧客の獲得や顧客貸付単価の上昇が堅調で、営業債権残高を安定して伸ばしており今後は期間利益の厚みが増していくと考える。利息返還請求件数は対象債権の減少などから減っており、これまで負担となっていた利息返還損失額は今後は緩やかに減少し期間利益を下回って推移すると考える。その結果、安定的に連結ベースの当期利益を確保できる構造へ転換すると JCR はみている。以上を踏まえ、格付を2ノッチ引き上げ「BB」とし、見通しは「ポジティブ」に変更した。今後は、利息返還損失の動向や期間利益の水準を高めていけるかを確認していく。
- (2) 19/3期上半期の連結経常利益は54億円（前年同期比30億円増）。18年9月末のオフバランスを含めた連結無担保ローン残高は4,285億円（17/9期末比+13.8%）と伸び、貸付金利息収入の増加を主因に期間利益の厚みが増している。利息返還損失額は75億円（前年同期比63億円減）だったが、下期はその減少が見込まれることと新規顧客数の伸長による利益増加によって、通期では期間利益を下回ると JCR は見込む。
- (3) 中長期的に安定して利益を拡大するために、多様な収益源を確立することが重要だと JCR では考えている。信用保証は事業性ローン保証の取扱いを強みに提携先数や保証残高を伸ばしていけるとみている。ライフカードは稼働率改善や独立系の強みを生かして新たな技術や提携を取り込み収益を拡大していけるか見守る。タイの AIRA&AIFUL は当初 19/3 期の黒字化を計画していたが、与信体制を見直しているため連結への利益貢献には時間を要す見込みである。
- (4) 18年9月末の無担保ローンの不良債権比率は連結で9.5%（18/3期末9.4%）、グループ合算の利息返還を除く貸倒償却率は2.0%（17/9期末1.9%）と上昇しつつあるが問題ない水準である。新規顧客の伸びが一巡する局面では不良債権比率が高まりやすいことや、個人の破産件数が増加傾向にあることから、JCR では債権の質と貸倒関連費用の動向に注目していく。内部留保の蓄積で18年9月末の連結純資産は1,237億円（18/3期末1,194億円）と増加しているが、営業債権残高の増加により連結自己資本比率は16.2%（同16.7%）と低下した。資金調達は、メインバンクの三井住友信託銀行との安定的な取引に加え金融機関数の増加や、債権流動化と社債の活用で安定度が増しており、調達条件も改善しつつある。引き続き調達基盤を強化できるか注視する。

（担当） 大山 肇・前田 瞳

■格付対象

発行体：アイフル株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BB	ポジティブ

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年11月28日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三
主任格付アナリスト：大山 肇
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「消費者金融」(2013年7月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) アイフル株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■ NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル